

人口・世帯から見る 木曾山崎団地地区の現状

第3回町田市木曾山崎団地地区まちづくり連絡協議会
(2012年1月19日木曜日)

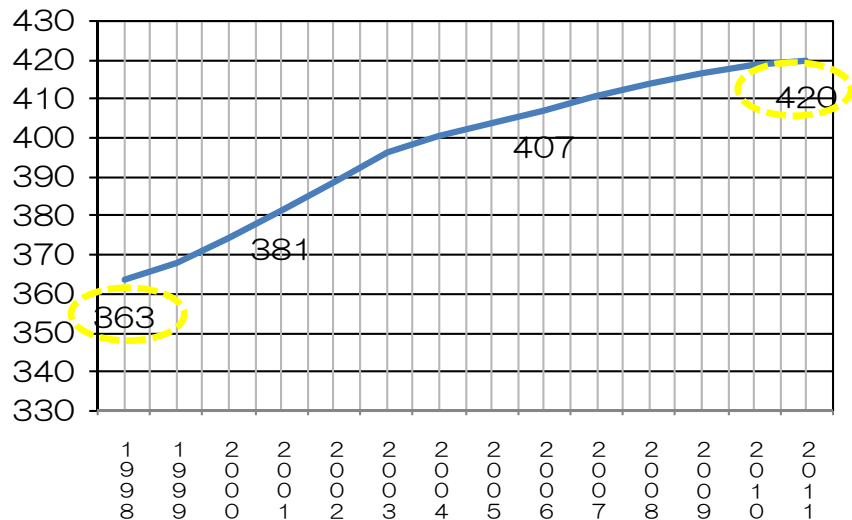
町田市政策経営部企画政策課

1 人口

団地の人口が大きく減少している

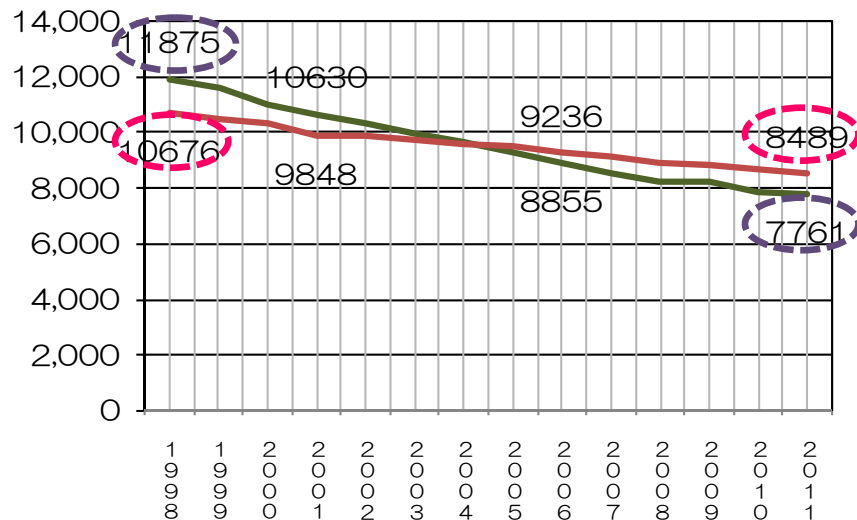
- 町田市は2011年に42万人で、1998年と比較して5万7千人(15.8%)増加している。(図1.1)
- UR山崎団地の人口は2011年に7,761人で、1998年と比較して4,114人(34.6%)減少しており、公社町田木曾住宅の人口は2011年に8,489人で、1998年と比較して2,187人(20.5%)減少している。(図1.2)

図1.1 町田市の人口の推移(1998年～2011年) (単位:千人)



町田市 (日本人のみ)

図1.2 団地の人口の推移(1998年～2011年) (単位:人)



UR町田山崎 公社町田木曾住宅

出所: 住民基本台帳・外国人登録原票より集計(各年10月1日現在)

出所: 住民基本台帳・外国人登録原票より集計(各年10月1日現在)

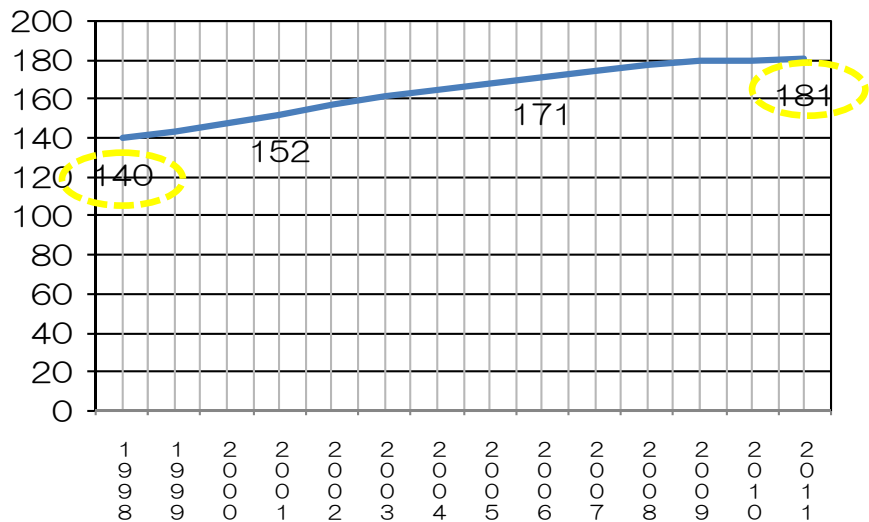
UR山崎団地とは、UR住宅町田山崎団地、町田山崎第二団地、サンヒルズ町田山崎のことをいう。

2 世帯数

UR山崎団地では世帯が減少している

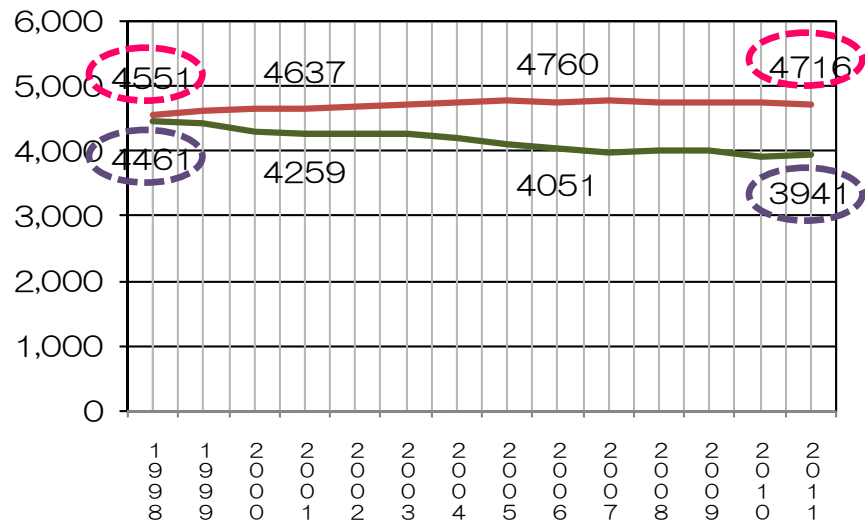
- 町田市の世界帯は2011年に18万1千世帯で、1998年と比較して4万1千世帯(29.3%)増加している。(図2.1)
- UR山崎団地の世帯は2011年に3,941世帯で、1998年と比較して520世帯(11.7%)減少しており、公社町田木曾住宅の世帯は2011年に4,716世帯で、1998年と比較して165世帯(3.6%)増加している。(図2.2)

図2.1 町田市の世界帯の推移(1998年~2011年) (単位:千世帯)



— 町田市 (日本人のみ)

図2.2 団地の世帯の推移(1998年~2011年) (単位:世帯)



— UR町田山崎 — 公社町田木曾住宅

出所: 住民基本台帳・外国人登録原票より集計(各年10月1日現在)

出所: 住民基本台帳・外国人登録原票より集計(各年10月1日現在)

UR山崎団地とは、UR住宅町田山崎団地、町田山崎第二団地、サンヒルズ町田山崎のことをいう。

3 年齢別人口の構成割合

UR山崎団地の居住者の約半数が60歳を超えている

- 年齢別（15歳階級別）に町田市の人々の構成割合を見ると、30歳以上45歳未満の年齢層の割合が最も高く23.3%となっている。（図3.1）
- 年齢別（15歳階級別）にUR山崎団地、公社町田木曾住宅の人々の構成割合を見ると、ともに60歳以上75歳未満の年齢層の割合が最も高くなっている（UR33.5%、公社31.8%）。また、60歳以上75歳未満の年齢層と75歳以上の年齢層を合計した割合はそれぞれUR 49.4%、公社41.6%となっている。（図3.2）

図3.1 町田市の年齢別人口の割合（単位：%）

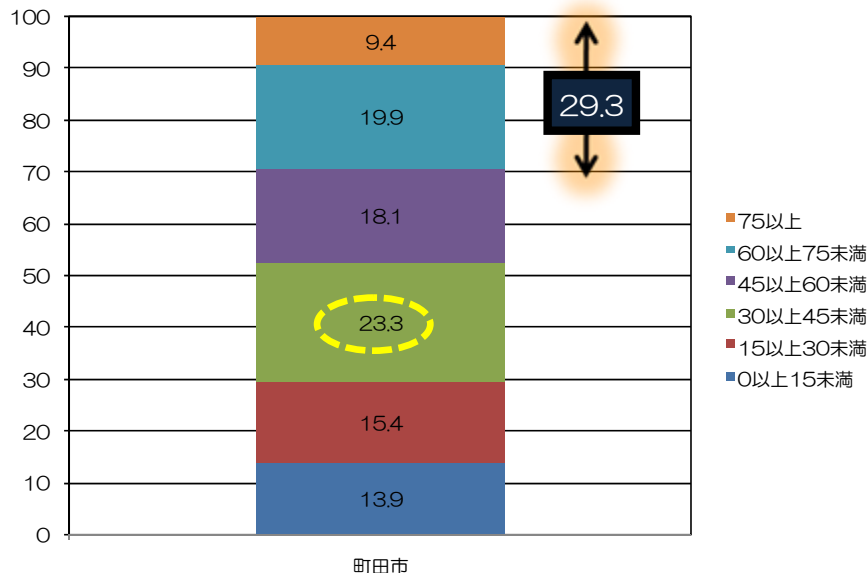


図3.2 団地の年齢別人口の割合（単位：%）



4 年齢別世帯主の構成割合

団地の世帯主の半数以上が60歳を超えている

- 年齢別（15歳階級別）に町田市の世界帯主の構成割合を見ると、60歳以上75歳未満の年齢層の割合が最も高く27.4%となっている。（図4.1）
- 年齢別（15歳階級別）にUR山崎団地、公社町田木曾住宅の世界帯主の構成割合を見ると、ともに60歳以上75歳未満の年齢層の割合が最も高くなっている（UR41.2%、公社38.0%）。また、60歳以上75歳未満の年齢層と75歳以上の年齢層を合計した割合はそれぞれUR 64.7%、公社51.6%となっている。（図4.2）

図4.1 町田市の年齢別世帯主の割合（単位：%）

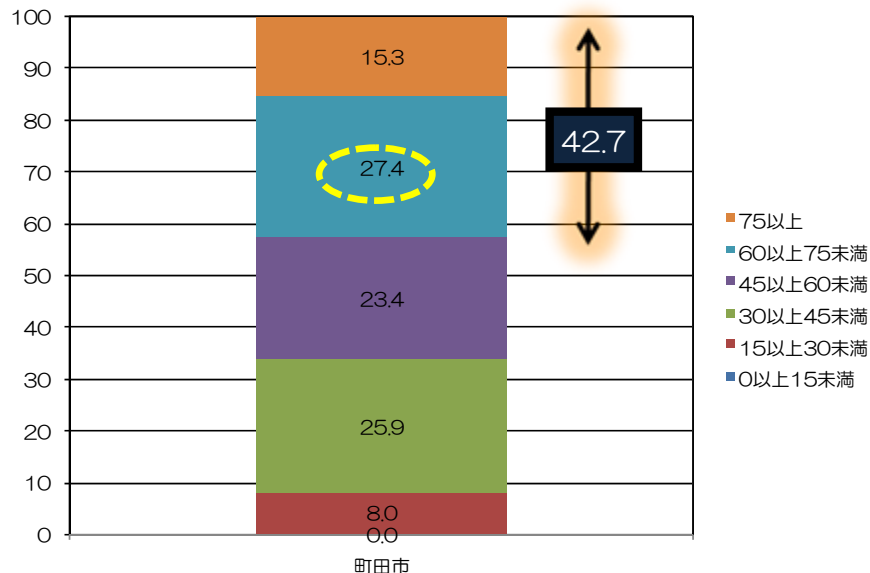
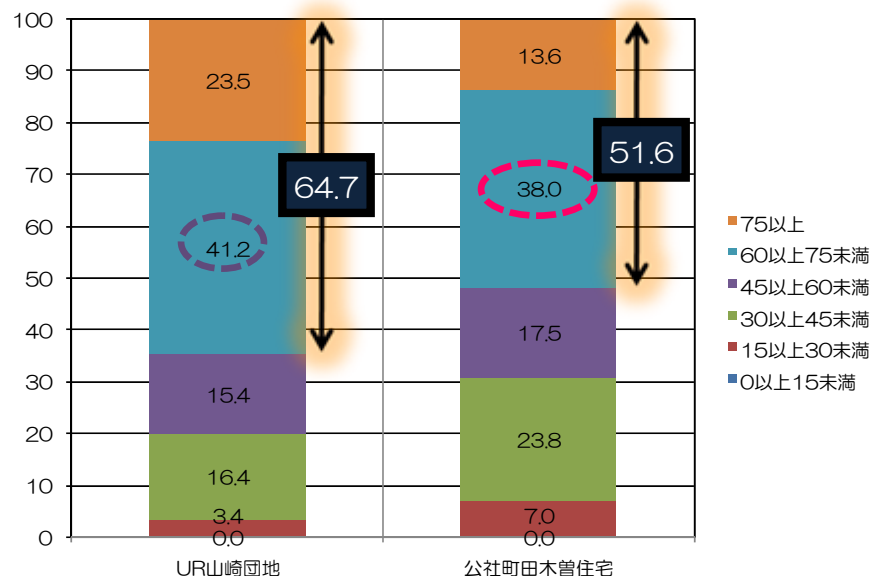


図4.2 団地の年齢別世帯主の割合（単位：%）

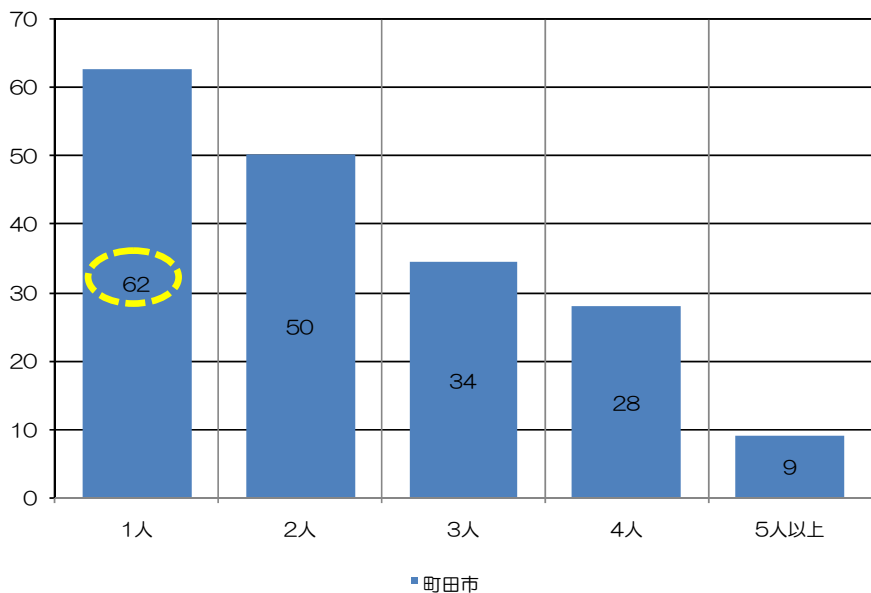


5 世帯人員別世帯数

公社町田木曾住宅の1人(单身)世帯が多い

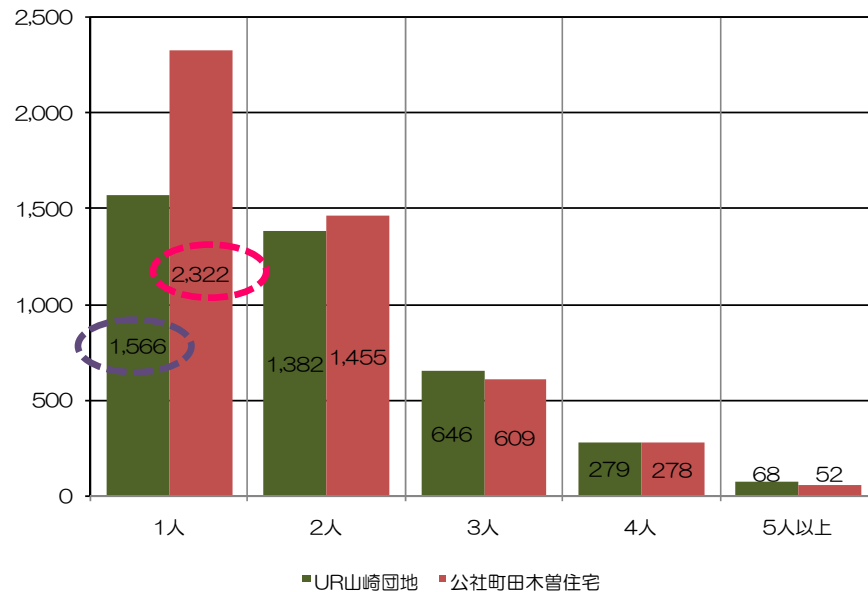
- 世帯人員別に町田市の世帯数を見ると、1人(单身)世帯が最も多く6万2千世帯となっている。(図5.1)
- 世帯人員別にUR山崎団地、公社町田木曾住宅の世帯数を見ると、ともに1人(单身)世帯が最も多くなっている(UR1,566世帯、公社2,322世帯)。特に、公社町田木曾住宅の1人(单身)世帯は多く、2人世帯の約1.6倍となっている。(図5.2)

図5.1町田市の世帯人員別世帯数(単位:千世帯)



出所:住民基本台帳・外国人登録原票より集計(2011年10月1日現在)

図5.2団地の世帯人員別世帯数(単位:世帯)



出所:住民基本台帳・外国人登録原票より集計(2011年10月1日現在)
UR山崎団地とは、UR住宅町田山崎団地、町田山崎第二団地、サンヒルズ町田山崎のことをいう。

6 世帯人員別世帯の構成割合

団地の世帯の小規模化が進んでいる

- 世帯人員別に町田市の世界帯の構成割合見ると、1人(単身)の世界帯の割合が最も高く34.0%となっている。(図6.1)
- 世帯人員別にUR山崎団地、公社町田木曾住宅の世界帯の構成割合を見ると、ともに、1人(単身)の世界帯の割合が最も高くなっている(UR39.7%、公社49.2%)。また、1人(単身)世帯と2人の世界帯を合計した割合はそれぞれUR74.8%、公社80.1%となっている。(図6.2)

図6.1町田市の世界帯人員別世帯の割合(単位:%)

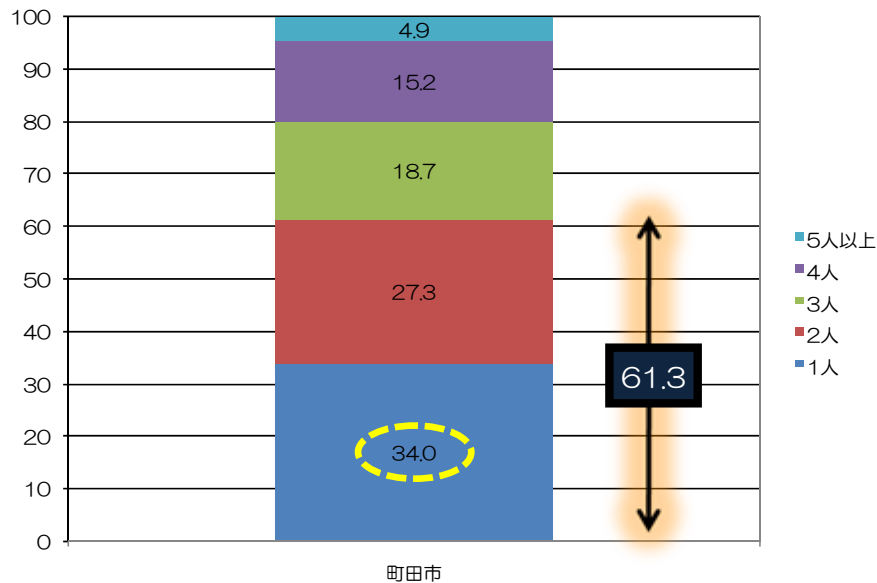
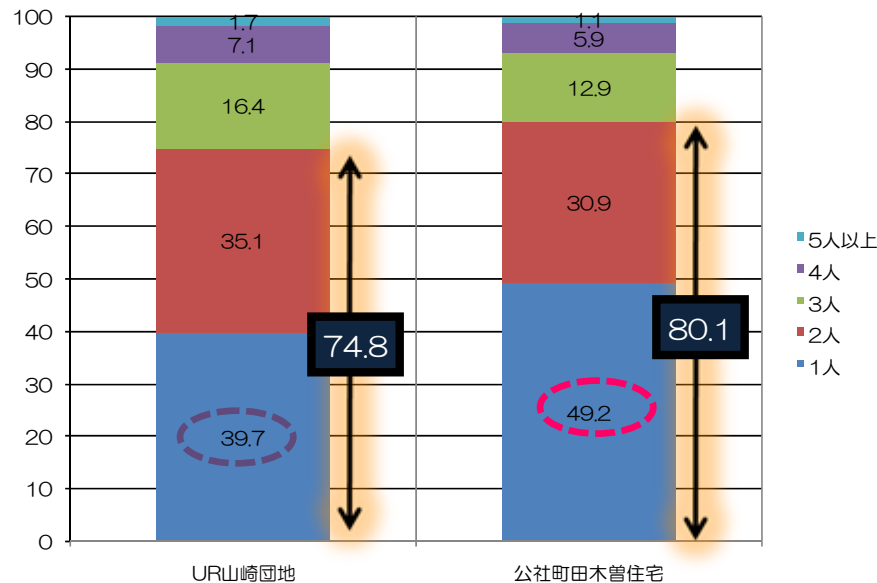


図6.2団地の世帯人員別世帯の割合(単位:%)



7 木曾山崎団地地区の状況

狭小な面積によって世帯の小規模化が進んでいる

- 東京都内の世帯人員別に居住する住居の延べ面積ごとの割合を見ると、世帯人員が3人より多い区分になると50m²以上の住居に居住する割合が高くなる。(図7.1)
- UR住宅町田山崎団地、公社町田木曾住宅は一戸当たり延べ面積はともに50m²未満であり、出産や子どもの成長によって住居が手狭になることから、子育てを行う若い世帯にとって引き続き居住することが困難になっていると考えられる。このことが、世帯人員の小規模化と、居住者の高齢化が進む一因となっている。(図7.1, 図7.2)

図7.1延べ面積, 世帯人員別一般世帯数の割合(単位: %)

延べ面積	東京都					
	世帯計	世帯人員が1人	同2人	同3人	同4人	同5人以上
0~19m ²	7.6	15.2	2.0	1.0	0.7	0.6
20~29m ²	13.8	26.1	5.4	2.8	1.7	1.7
30~39m ²	10.6	14.5	10.9	5.6	3.2	3.1
40~49m ²	9.7	10.1	12.1	9.1	5.0	4.8
50~59m ²	11.1	9.4	13.9	12.6	10.3	8.4
60~69m ²	10.7	7.5	12.6	14.2	14.2	12.0
70~79m ²	9.7	5.7	11.3	14.2	15.9	11.4
80~89m ²	6.2	3.1	7.1	9.3	11.6	8.1
90~99m ²	5.5	2.5	6.5	8.5	11.0	7.5
100m ² 以上	15.2	6.0	18.1	22.6	26.5	42.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図7.2一戸当たりの延べ面積

UR住宅町田山崎団地

型式	延べ面積(m ²)	戸数(戸)
1LDK	41.00	120
2DK	41.00	508
2LDK	56.00	185
2DK	47.00	954
3K		
2DK	56.00	777
2LDK		
3DK		
一戸当たり延べ面積	48.92	-

公社町田木曾住宅

型式	延べ面積(m ²)	戸数(戸)
2K	32.58 *	740
2DK	37.93 *	2,890
2DK+S	51.74	40
3K	39.96	522
3K	39.96	108
3DK	45.88	28
3DK	45.88	2
一戸当たり延べ面積	37.49	-

出所: 総務省「平成22年国勢調査」(2010年10月1日現在)

出所: UR住宅町田山崎団地は都市再生機構HPより
町田木曾住宅は町田市「団地白書21」より
*住居ごとに床面積が異なるため平均値を用いている